



8月に行われた除幕式

ワールドゲームズ メモリアルプレート

あの感動を 忘れない!

メモリアルプレート

昨年行われたワールドゲームズ秋田大会。主会場となった八橋陸上競技場の正面入口に、あきたワールドゲームズ記念会から寄附されたメモリアルプレートが、八月に設置されました。世界各地から約四千人が集まり、熱戦が繰り広げられたワールドゲームズは、私たちに元気と自信を与えてくれました。あの興奮と感動を忘れずに、次の世代へと語り継いでいきたいですね。



フィナーレは全員で合唱。心が一つになりました

ゆめ秋田21

未来への メッセージ

十月三日、將軍野中学校で「ゆめ秋田21中学生会議」が開かれました。

今年は、秋田の良さを再発見しよう」をテーマに市内中学校が四ブロックに分かれ活動。地域の私たちと海岸のクリーンアップをしたり、千秋公園でA・L・T(英語指導助手)の人たちと交流活動などを行いました。

活動報告のあと、未来へのメッセージとして「秋田をもっと知るための活動をしよう」「市内二十三校合同での活動に踏み出そう」と二つの提言を採択。

今後の中学生会議の方向性を決めるとともに、地域のクリーンアップ、全市中学生一斉あいさつ運動などのアクションを今すぐに起こすことを約束しました。



まちづくりの新しい制度 その4

宅地開発に関する 条例・規則ができました。

問い合わせ

都市整備課 ☎(866)2155
<http://www.city.akita.jp/city/ur/im/default.htm>

公共施設

公共施設のうち、道路の構造(舗装、縦断勾配)、公園の規模・柵などの設置、消防水利の設置場所について、基準の強化と緩和をはかりました。

一宅地の敷地面積の最低限度

開発区域内で予定される建築物の敷地面積の最低限度を定めました。
 市街化区域：一四 m²
 市街化区域以外の区域：二 m²

周知と説明会

開発事業者は、開発区域から三 m 以内の住民に対し、許可申請前までに開発行為の計画内容、予定建築物、工事の施工法などについて、文書や説明会で周知をはかり、また、その他の周辺住民へも確実に周知しなければなりません。

さらに、周辺住民から説明会の開催を求められたときは、これに応じる必要があります。また、開発区域面積が三千 m²以上の開発行為の場合、開発区域から三 m 以内にある世帯数の三分の二以上の要請があれば、開発事業者は、必ず説明会を開かなければなりません。

罰則など

市長は、開発事業者が右記説明会を開催しないときは、指導または勧告を行います。正当な理由がないときは、弁明の機会を与え、審議会の意見を聴いたうえで、その旨を公表します。

基本方針

開発事業者は、総合都市計画に合った開発を行うこととし、開発行為による問題や紛争が生じたり、生ずるおそれがあるときは、問題解決のための調整に努める必要があります。

さらに、開発行為で整備された土地や公共施設などの情報開示に努めなければなりません。

手続きの明確化

開発事業者は、公共施設などの整備、土地利用の調整などを法定手続き前に市長と協議しなければなりません。

また、工事の際は、速やかに届出書を市長に提出し、工事期間中は工事現場において、公衆の見やすい場所に開発内容を記載した標識を掲示する義務があります。

公益的施設など

居住区域に必要な公益的施設は、開発区域の規模に応じ配置する基準を定めました。

ごみ収集場：予定戸数が二戸以上
 集会所：予定戸数が五戸以上
 防犯灯など：開発区域の面積が五千 m²以上